

**RX3041**

取り付けクイックガイド

# 1 はじめに

この度は ASUS RX3041 ルータをお買い上げいただき、ありがとうございます。この高品質で、信用性の高いインターネットルータは、ケーブルや DSL モデムを通じ、複数のユーザーでインターネット接続を共有することが可能です。また、ルータを取り付けるだけで、Cable/DSL モデムに接続し、インターネット接続が可能です。ルータ以外にも、10/100Mbps 4 ポート Ethernet スイッチとして機能し、全てのポートが MDI/MDIX に対応することで、CAT5 ケーブルが使用可能ですので、他のルータ/スイッチにアップリンクできます。本製品は小規模、中規模のビジネス、小規模なオフィス/ホームオフィス (SOHO) に対応するトータルソリューションを提供し、即座に今日のネットワークを構築できるとともに、今後の技術革新にも対応可能な製品となっています。

## 1.1 特徴

- **3ステップ簡単セットアップウィザード**

インターネットの共有が3つのウィザードで簡単に設定できます。

- **ユーザーフレンドリーな Web Graphical User Interface**

ASUS 独自のフレンドリーなユーザーインターフェースなら、セットアップも簡単。

- **DHCP サーバサポート**

要求に応じて、ダイナミックに IP アドレスを PC と他のデバイスに提供。お使いの LAN の各デバイスに応じて DHCP サーバとして機能します。

- **Multi DMZ ホストサポート**

お使いの LAN 上の PC 一台を、サーバ、個人ユーザー間双方向での無制限のコミュニケーションが可能。

- **PPTP と PPPoE のサポート**

インターネット (WAN ポート) 接続で、「Direct Connection」タイプのサービスはもちろん PPPoE (PPP over Ethernet) と PPTP (Point-to-Point Tunnel Protocol) をサポートします。

## 1.2 パッケージの内容

- RX3041 ルータ
- AC 外部アダプタ

- CD（他言語ユーザーマニュアルを含む）
- ユーザーマニュアル（本書）

## 1.3 各部名称

### 1.3.1 フロントパネル

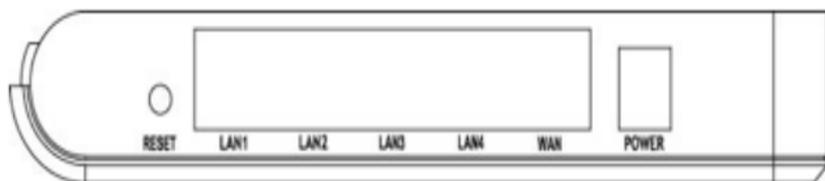
フロントパネルのLED インジケーターはユニットの状態を表示します。



LED	カラー	状態	表示
POWER	グリーン	ON	RX3041 がオン。
		OFF	RX3041 がオフ。
LAN(1-4)	グリーン	ON	Link が確立。
		点滅	Link が確立。データの転送中、または受信中。
WAN	グリーン	ON	Link が確立。
		点滅	Link が確立。データの転送中、または受信中。
STATUS	グリーン	ON	デバイスがハングアップ。
		点滅	デバイス準備間完了。

## 1.3.2 リアパネル

リアパネルにはユニットのデータ用と電源接続用のポートが装備されています。



ラベル	表示
POWER	電源入力ジャック : AC アダプタに接続。
WAN	WAN ポート : お使いの WAN デバイスに接続。(ADSL、ケーブルモデム等)
LAN (1-4)	LAN ポート : お使いの PC の Ethernet ポートに接続、または Ethernet ケーブルを使用して LAN のハブ / スイッチのアップリンクポートに接続。
RESET	リセットボタン : 1. 4 秒以上押すと、システム設定を工場出荷状態にリセット。 2. 7 秒以上押すと、デバイスを再起動。

## 1.4 システム条件

- 1台または複数の Ethernet インターフェース内蔵の PC (デスクトップ、ラップトップを問わない)。
- TCP/IP プロトコルが全ての PC にインストールされている。
- 有効なインターネットアクセスアカウントと DSL または ケーブルモデム。
- RJ-45 コネクタ付き 10/100BaseT ネットワークケーブル。
- MS Internet Explorer ver. 5.0 以降、 または Netscape Navigator ver. 4.7 以降のシステム。

## 1.5 取り付けにあたって

- 1) ルータと DSL/ ケーブルモデムの電源をオフにします。
- 2) システムをストレート LAN ケーブルでルータの LAN ポートに接続します。
- 3) DSL、またはケーブルモデムをルータの WAN ポートに接続します。
- 4) DSL またはケーブルモデムの電源をオンにし、次に電源アダプターをルータの電源ジャックに接続し、電源ケーブルを出力につなぎます。
- 5) LED のチェック。
  - a) ルータの電源を入れると、電源 LED がオンになります。
  - b) アクティブな LAN 接続時、LAN LED がオンになります。
  - c) または ケーブルモデムが接続されると、WAN LED がオンになります。

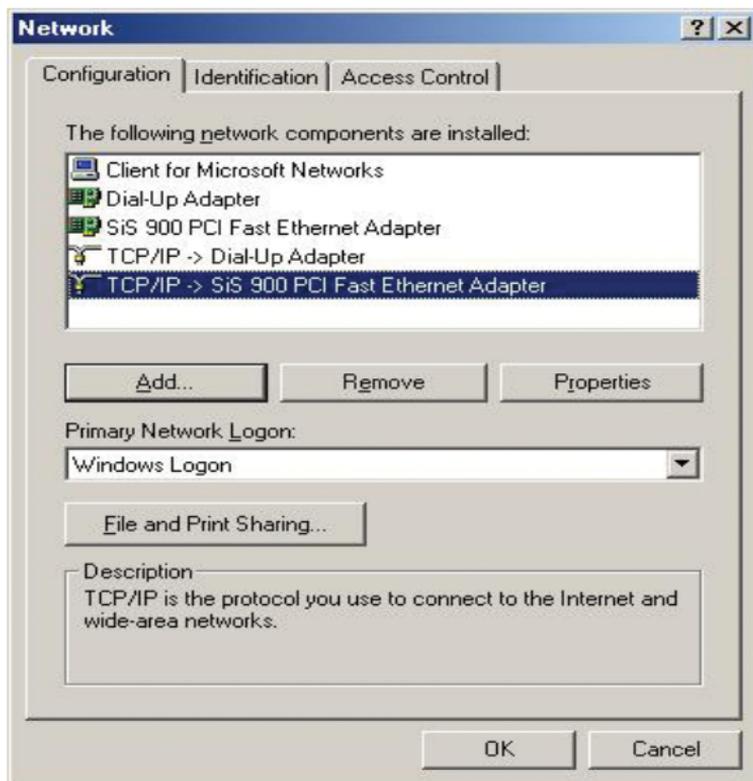
## 2 PC 構成

RX3041 LAN ネットワーク内の各システムに応じた TCP/IP ネットワーク設定、インターネットアクセスの設定が必要です。RX3041 ルータはデフォルトで DHCP サーバとして動作し、システムが起動すると、自動的に IP アドレスを各システムに割り当てます。クライアントのシステムに対し、固定 IP アドレスを選択する場合は、クライアントシステムのゲートウェイはルータの IP アドレスに、クライアントシステムの DNS はユーザーのプロバイダのアドレスに設定する必要があります。

## 2.1 TCP/IP ネットワーク設定

### 2.1.1 Windows 9x/ME の TCP/IP 設定の確認

- a) スタート → コントロールパネル → ネットワークに進むと、次のような画面が表示されます。



- b) 「プロパティ」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

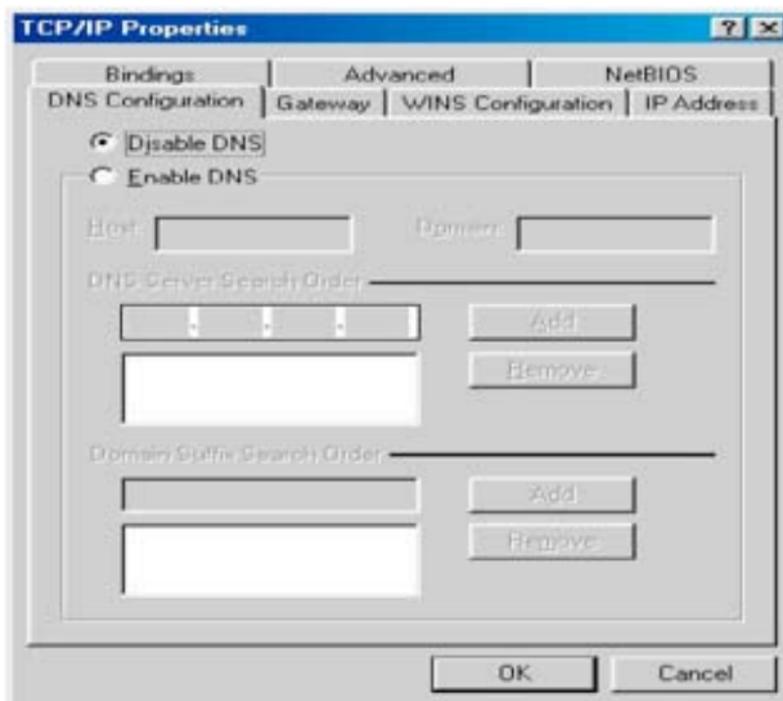


- DHCPを使用する場合は、「Obtain an IP address automatically」を選択し、「OK」をクリックし、設定を保存します。システムを再起動すると、ルータはIPアドレスを取得します。
- 固定IPアドレスを使用する場合は、「Specify an IP address」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクが正しいことを確認してください。

- c) 「Gateway」のタブで、「New gateway」の欄に正しいゲートウェイアドレスを入力したら、「Add」をクリックします。

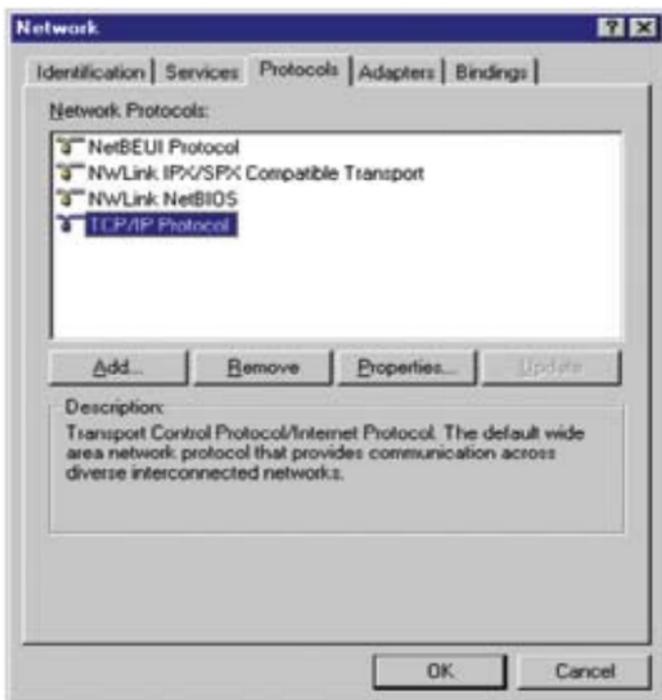


- d) 「DNS Configuration」タブで、「Enable DNS」を選び、「DNS Server Search Order」の欄にプロバイダのDNSアドレスを入力したら、「Add」をクリックします。

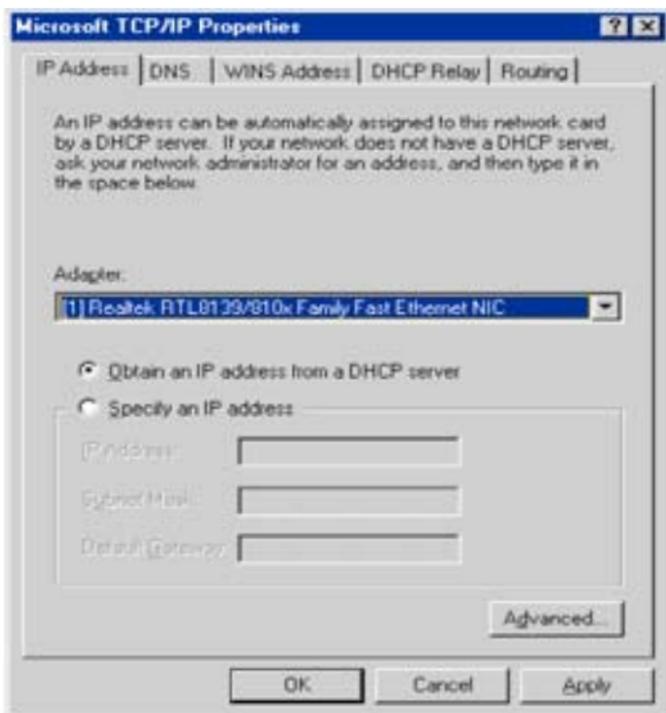


## 2.1.2 Windows NT4.0 の TCI/IP 設定の確認

- a) コントロールパネル → ネットワーク に進み、プロトコルのタブで「TCP/IP Protocol」を選択すると、次のような画面が表示されます。



b) 「プロパティ」 をクリックすると、下のような画面が表示されます。



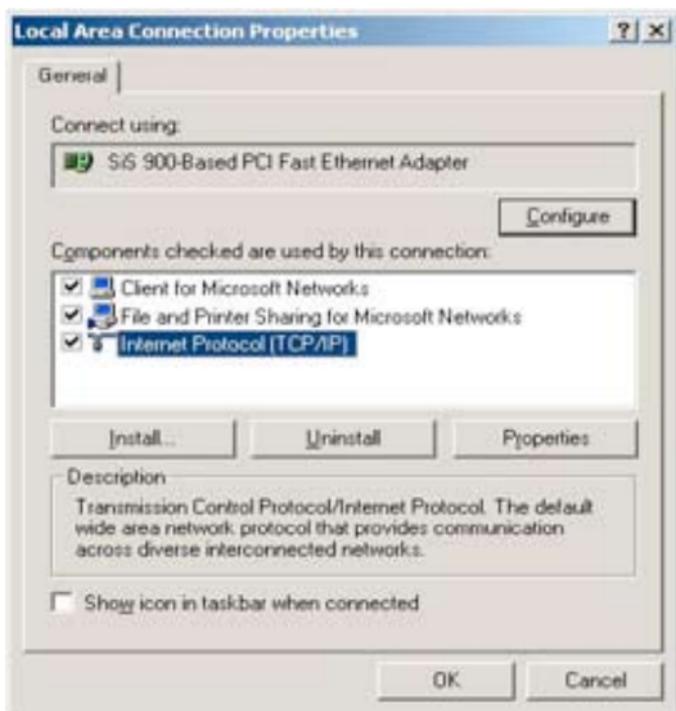
- Adapter の欄から、システムのネットワークカードを選択します。
- ルータからの IP アドレスを使用する場合は、「Obtain an IP address from a DHCP server」を選択します。
- 他の IP アドレスを使用する場合は、「Specify an IP address」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクの欄にアドレスを正しく入力してください。

- ルータの IP アドレスは「Default Gateway」として設定します（推奨）。
- c) プロバイダの DNS アドレスを入力するには、「DNS」タブで、「DNS Service Search Order」のリストの下にある Add をクリックし、DNS を入力します。

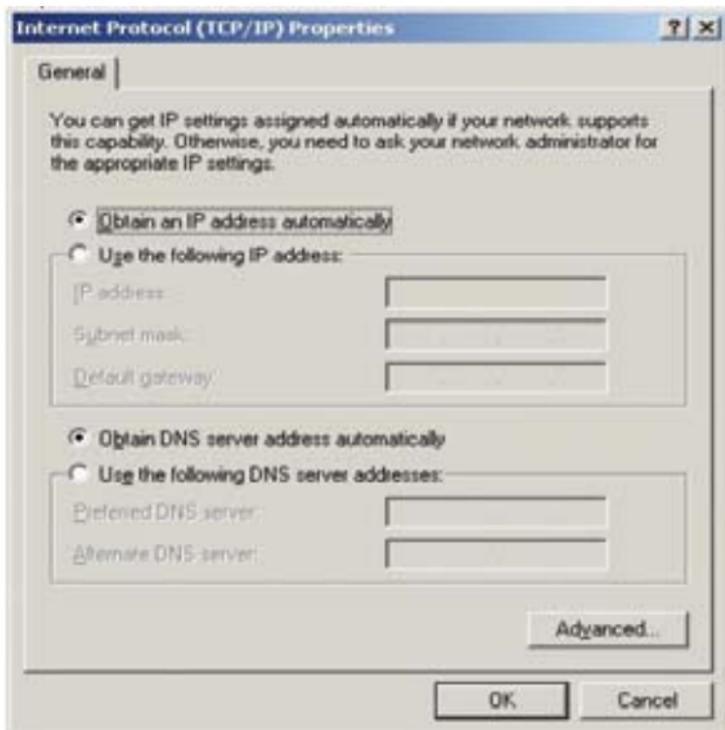


## 2.1.3 Windows 2000 の TCP/IP 設定

- a) 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」に進み、「ローカルエリア接続」を右クリックし「プロパティ」を開きます。



- b) システムのネットワークカード用に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックすると、次のような画面が表示されます。



- ルータからの IP アドレスを使用する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。
- 他の IP アドレスを使用する場合は、「次の IP アドレスを使用する」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクの欄にアドレスを正しく入力します。

- ルータの IP アドレスは「デフォルトゲートウェイ」として設定します（推奨）。
- DNS Server の欄が空欄の場合は、「次の DNS サーバのアドレスを使用する」を選択し、プロバイダの DNS アドレスを入力して、「OK」をクリックします。

## 2.1.4 Windows XP の TCP/IP 設定

- a) 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」に進み、「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を開きます。開くと次のような画面が表示されます。



- b) 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックすると、次のような画面が表示されます。



- ルータからの IP アドレスを使用する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。
- 他の IP アドレスを使用する場合は、「次の IP アドレスを使用する」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクの欄にアドレスを正しく入力します。
- ルータの IP アドレスは「デフォルトゲートウェイ」として設定します（推奨）。

- DNS Server の欄が空欄の場合は、「次の DNS サーバのアドレスを使用する」を選択し、プロバイダの DNS アドレスを入力して、「OK」をクリックします。

### 3 Web ブラウザ経由でルータ構成をセットアップ

本製品にはインターネットベースの構成ユーティリティが付属しています。RX3041 ルータの LAN 域内のクライアントシステムであれば、どこからでもこのユーティリティへのアクセスが可能です。最高のパフォーマンスを得るため、Microsoft Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Navigator 4.7 以降のものをお使いください。設定を始める前に、以下の項目を確認してください。

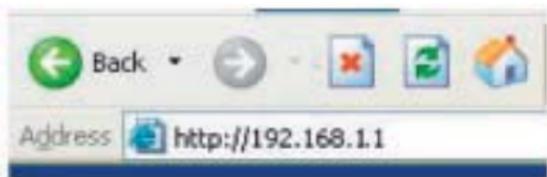
- a) プロバイダからの IP アドレスの割り当てが、静的（固定）か動的かを確認します。また静的割り当ての場合は、そのアドレスを確認します。
- b) プロバイダが PPPoE を使用しているかどうか確認します。使用している場合は、その PPPoE のユーザーネームとパスワードを確認します。

以上の項目で不明な点がある場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

### 3.1 Web ブラウザを起動

ウェブベースユーティリティを使うには、インターネットブラウザ (MS IE 5.0 以降、Netscape Navigator 4.7 以降のもの) を起動する必要があります。

**ステップ 1** : RX3041 Router のデフォルト IP アドレス「**http://192.168.1.1**」をアドレスフィールドに入力して、「Enter」を押します。

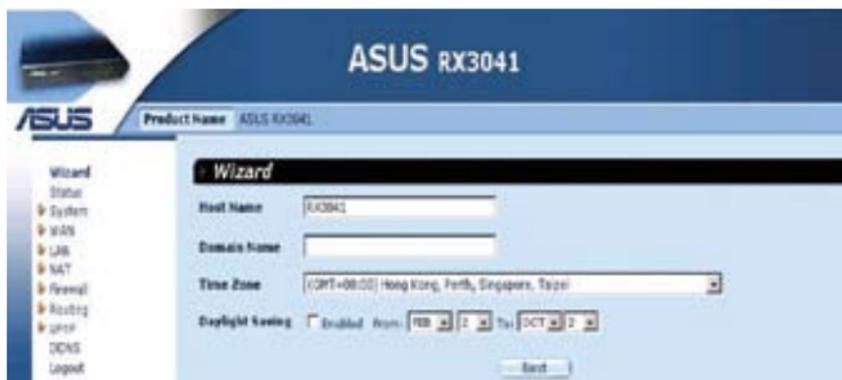


**ステップ 2** : ログインダイアログボックスが表示されます。User Name に「admin」、Password に「admin」と入力し、「OK」をクリックしてウェブベースユーティリティにログインします。



### 3.2 Wizard

ホスト名、ドメイン名、タイムゾーン、サマータイムなど、ルータの基本的な設定を行います。「Next」をクリックしてWAN 設定ウィンドウに移ります。



**Host Name:** プロバイダより提供されたホスト名がある場合は入力してください (デフォルト : RX3041 Router)。

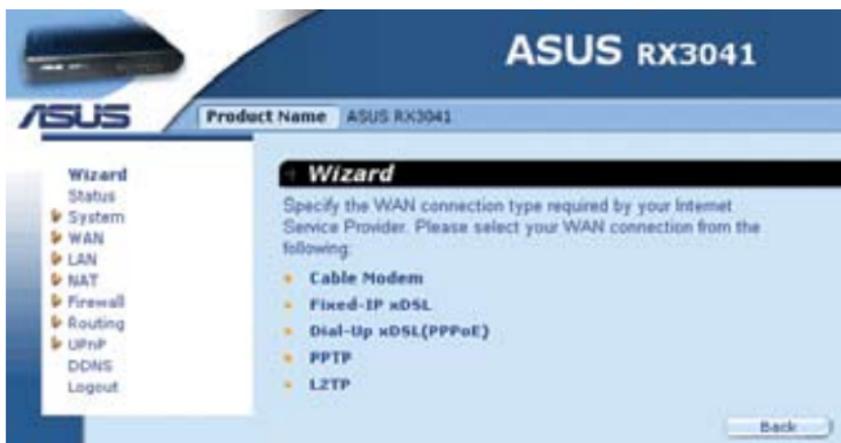
**Domain Name:** プロバイダより提供されたドメイン名がある場合は入力してください。

**Time Zone:** タイムゾーンを設定してください。ルータの時間はここでの設定と同じになります。

**Daylight Saving:** サマータイムの設定です。この機能をご利用の場合は「Enable」にチェックを入れてください。

**Next:** 「Next」をクリックすると WAN 設定ウィンドウへ移ります。

次項の画面で、WAN 接続のタイプを特定することができます (ケーブルモデム、固定 IP xDSL、PPPoE xDSL 等)。セットアップ後は「**Next**」をクリックし、DNS 設定を更新します。



**Cable Modem:** ケーブルモデムに接続する場合は「Cable Modem」をクリックして、MAC のクローン機能の設定をします。  
(MAC アドレスはプロバイダより提供)

**Fixed-IP xDSL:** 固定 IP xDSL に接続する場合は、「Fixed-IP xDSL」 をクリックして、プロバイダより提供された IP アドレスとゲートウェイアドレスを入力してください。

**Dial-Up xDSL (PPPoE):** ダイヤルアップ xDSL に接続する場合は「Dial-Up xDSL」 をクリックして、プロバイダより提供されたログイン情報を入力してください。

**PPTP:** PPTP に接続する場合は「PPTP」 をクリックして、プロバイダより提供されたログイン情報を入力してください。

**L2TP:** L2TP を通して接続する場合は「L2TP」 をクリックして、プロバイダより提供されたログイン情報を入力してください。

DNS サーバを有効に設定した場合のみ、WAN 構成ウィンドウにて DNS 設定を更新できます。DNS 構成を変更し、「Finish」をクリックすると、DNS 設定を更新します。

